

製品・サービス動向-国内

■いい生活：不動産業界のWeb接客・IT重説向けに最適化したWeb会議クラウド「ES x MeetingPlaza」の販売を開始

(6月1日)

株式会社いい生活 (<https://www.e-seikatsu.info/>) (東京都港区) は、不動産業界のWeb接客・IT重説向けに最適化したWeb会議クラウド「ES x MeetingPlaza」を6月1日より販売開始した。

ES x MeetingPlaza の特徴は、IT重説に最適化したユーザインターフェイス/ユーザエクスペリエンスを実現しているとともに、IT重説の記録に最適な自動録画機能を備えている。また、小規模な不動産会社にも導入しやすいリーズナブルな価格設定となっている。

ES x MeetingPlaza は、いい生活のみの取り扱いとなり、社内会議などの用途については別途NTTテクノクロスの「MeetingPlaza」を契約することになっている。

価格については、同時利用最大5アカウントまでのプラン5では、初期費用が30,000円(税別)、月額利用料が10,000円(税別)となっている。法人単位の契約で利用時間を気にしない使い放題・定額プランとなっている。

いい生活は、2015年9月よりNTTテクノクロスのMeetingPlazaの提供を通じて、不動産業界の業務効率化およびIT重説の推進を支援してきた。2017年10月からのIT重説本格運用開始以前の、国土交通省による社会実験期間中から定期的に全国でセミナーやユーザーミーティングを開催し事例共有を行うなど、Web会議クラウドの活用を積極的に推進してきた。

この2年9カ月の間に蓄積してきた知見をもとに、不動産会社のWeb接客およびIT重説にマッチする専

用パッケージを用意し、ES x MeetingPlaza としていい生活より販売することになった。

いい生活は不動産業のあらゆる業態と業務に対応する不動産会社向けのシステム開発に特化し、情報産業である不動産ビジネスにおいて成功の鍵となるワンストップソリューションのシステムをクラウドサービスで全国の不動産会社に提供している。

ビジネス動向-国内

■日本マイクロソフト：三井不動産「BASE Q イノベーション・ビルディングプログラム」と Microsoft 365 の連携を発表

(記者会見取材：5月29日)

日本マイクロソフト株式会社 (<https://www.microsoft.com/ja-jp>) (東京都港区) は、三井不動産株式会社 (<http://www.mitsui-fudosan.co.jp/>) (東京都中央区) が6月18日から提供開始する「BASE Q イノベーション・ビルディングプログラム」とマイクロソフトの統合ソリューション「Microsoft 365」の連携を発表。



BASE Q (三井不動産)

BASE Q イノベーション・ビルディングプログラムは、東京ミッドタウン日比谷のビジネス創造拠点 BASE Q (<https://www.baseq.jp/>) を運営拠点として、日本の大手企業に対し、ベンチャー企業等と連携したビジネス創造活動を支援するオープンイノベーション支援プログラム。

「プログラムでは経験豊富な“伴走”コンサルタントが最長1年間にわたって網羅的にサポートする。探索・マッチングを通して、カルチャーが異なるベンチャー企業の精査を行い、大企業とベンチャーとの橋渡しを行っていく。」(三井不動産)

オープンイノベーションの成功のために欠かせないのが、大企業とベンチャー企業等とのスムーズかつリアルタイムなコラボレーションという。そこで、マイクロソフトの Microsoft 365 が公式コラボレーションツールとして認定された。

Microsoft 365 は、スマホでも会議に参加でき資料共有や共同作業(同時編集)が行える「Microsoft Teams」などプロジェクトを進めていく上で必要なツールを揃えており、大手企業が求める高いレベルの信頼とセキュリティで、あらゆるコラボレーションが完結する仕組みを提供している。今年3月には、Microsoft Teams が順次機能拡張により企業内だけでなく、企業外のユーザともつながるようになったという。



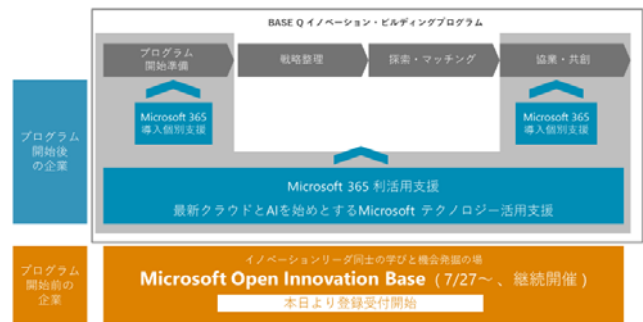
Teams の画面例 (日本マイクロソフト)

「企業ではメールが主流だが、ベンチャー界隈ではチャットを多用しているようだ。さまざまなツールを検討したが、Microsoft Teams は、メールと比べ、気軽

にコミュニケーションが行える。思いついたときにパッと会議が行え、クリエイティブなアイデアが出てきそう。」(三井不動産)

日本マイクロソフトによると、大手企業の8割はすでにクラウドを使用しており、Teams はすでにライセンスとして付与されている状況という。

オープンイノベーション成功に向けた日本マイクロソフトの支援施策



日本マイクロソフトの支援施策 (日本マイクロソフト)

「ベンチャーと大企業と間のコミュニケーションや企業間のコラボレーションを推進していくほか、クラウドやAI(人工知能)、ミックスドリアリティといった領域などでマイクロソフトとして支援していく考えだ。」(日本マイクロソフト)



両社の連携内容 (日本マイクロソフト)

なお、日本マイクロソフトでは、BASE Q イノベーション・ビルディングプログラムへの検討段階の顧客を含むすべてのオープンイノベーション指向な企業に向けて、イノベーションリーダー同士の学びと機会発掘の場として「Microsoft Open Innovation Base」を7月29日より継続的に開催する。5月29日よりエント

リー可能となっている。

■情報医療：ベネフィット・ワンの会員向け にオンライン診療を提供

(6月4日)

株式会社情報医療 (<https://micin.jp/>) (東京都千代田区) は、福利厚生代行大手のベネフィット・ワンの会員制優待サービス「ベネフィット・ステーション」の会員向けにオンライン診療サービス「クロン」の提供を開始する。

情報医療はスマートフォンで受診から、処方せんや医薬品の発送までを済ませられるオンライン診療サービス「クロン」を提供している。クロンは600近い診療所(クリニック)で採用されており、都内ではシェア首位を誇るという。

今回、743万人(2018年4月時点)の会員を抱えるベネフィット・ワンとの提携により、オンライン診療サービスの利用者の拡大を図る。なお、ベネフィット・ステーションの会員は初回に限り、通常は500円以上かかるサービス利用料が0円になる。

ビジネス動向-海外

■ヤマハ：米国子会社「Revolabs, Inc.」の商号変更を発表

(6月5日)

ヤマハ株式会社 (<https://jp.yamaha.com/>) (静岡県浜松市) は、UC事業のグローバル展開のさらなる加速を図るため、同社100%子会社のRevolabs, Inc. (米国・マサチューセッツ州) を Yamaha Unified Communications, Inc. (<https://uc.yamaha.com/>) に6月1日付けで商号変更したと発表。

米国を拠点とするRevolabs, Inc.は、2005年の創業以来、遠隔会議システムやワイヤレスマイクシステム

などの開発・製造・販売を行ってきた。2014年にヤマハがRevolabs社を完全子会社化してからはヤマハのUC事業の一翼を担ってきた。

この度、ヤマハグループで展開するUC事業のグローバルでのさらなる成長を目指して、商号にヤマハブランドを冠していくことで、企業ブランドの認知とさらなる企業価値の向上を図り、より高い品質の商品とサービスを顧客に提供していくとしている。

なお、Yamaha Unified Communications社の社長には上原 正憲氏が就任している。

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

USBスピーカーフォン FLX UC 500

https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flux_uc_500/index

■株式会社ロジクール

MeetUp(ミートアップ)ー

ハドルルーム(4~6名程度)に最適な、120度の広い視野角と4K光学にも対応するオールインワンタイプのカンファレンスカム

<http://www.logicool.co.jp/ja-jp/product/meetup-conferencecam>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（6月～7月）

失敗しない「Web会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー、「従来比1/3のコストで導入できる”V-CUBE Box 体験セミナー」、働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説、など
会場（東京・大阪・名古屋・札幌）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■<Cisco 社協賛>

Cisco Webex（旧 Spark）徹底解剖セミナー

日時：①7月11日(水) 15:00～17:00

②7月12日(木) 15:00～17:00

③7月13日(金) 15:00～17:00

会場：VTV ジャパン東京本社（東京都千代田区）

VTV ジャパン大阪オフィス（大阪市中央区）

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1807vtv/>

※セミナー参加特典キャンペーンあり！

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

■PDFファイル版（1号毎PDFファイル）

>2003年～2018年最新号（1号毎PDFファイル）

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

■電子ブック版（複数号まとめているのがあります）

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2017年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2018年6月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp